

令和元（2019）年度 柏崎市交通安全対策会議 議事録

日 時 令和元（2019）年5月15日（水） 午前10時00分から11時35分まで
会 場 柏崎市役所 第二分館2階第6会議室
会 長 櫻井市長
出席委員 小林（一）委員、加納委員、伊藤委員、近藤（喜）委員、内藤委員、石黒委員、
今井（貢）委員、本間（厚）委員、清水委員、村山委員、中村委員、小林（智）
委員、井比委員、須田委員、永寶委員、蓮池委員、藤本委員、本間（法）委員
欠席委員 近藤（尚）委員
事務局 藤村市民活動支援課長、市民活動支援課生活安全係員

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議事

－議長は櫻井柏崎市長が務める。－

（1）平成30年（2018年）交通事故概況（報告）について

－事務局説明－

（2）平成30（2018）年度柏崎市交通安全実施状況報告（報告）について

－事務局説明－

G委員 高齢者の免許更新時の認知機能検査は第3分類までである。
点数によって分類される。48点以下だと医師の診断書が必要となってくる。
状況報告書P16の免許返納者数の人数245人も増加していくとなると問題は、「あし」で、今日の新聞にも免許返納の説得が困難とあり、家族が説得するが、本人がなかなかうんと言わない。警察庁で、安全運転サポート車を入れるのを検討されているようだ。
75歳以上で第2分類の49～75点になった人の乗っている車は高級車が多いと思われる。高齢者は高速で東京へ行くこともないだろうから、軽自動車の利用に限定したらどうかと考える。軽自動車であれば、馬力がないから、車止めを超えることもないだろうと思われる。だいたいお店に突っ込んでいる車は3ナンバーが多い。
そういう車の更新時に軽自動車の利用を促してはどうかと自動車学校でも言ったことがあるが、営業妨害になるからと言われたことがある。
第10次計画のP12に運転適性検査車の活用とある。市でも75歳の高齢者には軽自動車へ乗ってもらうような方法を考えていただければと思う。

議長 後半の軽自動車のことについては、市として今後効率的なのか、という知見を持ちながらいきたいと思う。意見として承る。

K委員 前半の意見については、市とその他の関係機関と連携して対応していきたい。今は過渡期。返納後のアフターケア、この部分をしっかりして、様々な部分を視野に入れながら、幅広く協力関係を広げて、明日明後日という訳にはいかないが対応していきたい。

議長 免許返納の話は皆さんそうだなあとと思われると思う。

先日も地域懇談会で返納するのはいいけど、その後どうすればよいのかという話をお聞きした。今は平成30年度の状況報告についてであるが、この後に、平成31年度の計画の中で出てくるが、10月から市内の路線バスを65歳以上の方は半額にさせていただくので、是非路線バスもお使いいただきたい。選択肢の1つとお考えいただければと思う。

D委員 今ほど、会長より路線バスが半額とのお話があった。私は、公共交通活性化委員のメンバー（企画政策課）でもあり、その時に意見を申し上げたが、買い物もそうだが、高齢者でも管内だけでなく外へ出る。市内だけでなく、刈羽までと管外へ出る場合も対象とすることを市民活動支援課の観点から割引の対象にできないか検討してもらいたい。市内で降りる場合は、割引の対象となるが、刈羽村に入って降りたら割引対象外になるのは使い勝手が悪い。結論は、いろいろな観点から路線バスの割引について考えていただきたい。

議長 令和元年度の事業計画にも入っているが、今後、刈羽村へも伝えたいと思う。

H委員 最近、危険防止運転が取り上げられているが、国道8号線沿いでよく事故を目にする。かなり高速で飛ばしている「あおり運転」みたいなのをよく見る。こういう状況報告などにまとめた中で「危険防止」というまとめ方をするかどうか。

もう1つ、状況報告のP10に自転車事故が、平成29年10件から、平成30年17件に7件増加している。最近では高速が出る自転車が増えている。当然、乗られている方々は技術もあるのだろうが、実際、車を運転していると危ない運転の方もいる。軽車両としての認識がスポーツ的となってくると段々意味が違ってくると思うのだが、その辺はどうお考えか。

議長 1点目の質問について、国道8号線の違反以外のあおり運転などの実態について、K委員いかがか。

K委員 通報をいただかないと分からない。パトロール中であれば停止させて処理することが可能だが、警察官を全路線に配置している訳でないので、なかなか対応できない。最近では、ドライブレコーダに映っているのではないとか確認したりする。通報があれば可能な限り、そういうドライバーは指導するなどしていきたい。それが今の限界である。今後、法整備が進むので、取締りについても明確な根拠ができていくのではないかと思う。どんどん情報を寄せていただきたいと思う。

議長 事務局では、スポーツタイプ（自転車）の事故とか対応策などはあるか。

事務局（係長） スポーツタイプ（自転車）というような区分はなく、自転車事故という数字でしか把握していない。自転車の電動化が進んでいる。そういったところは対応をしていかなければならないと思う。

議長 自転車事故の男女比はどうか。

事務局 特に資料は示していない。

(係長)

N委員 新潟県全体で、バス割引の実施はできないか。

議長 なかなか難しい。今年10月の市内の割引だけで、年間1億5千万円掛かるが、全て税金で賄っている。また、一番厳しいのは、バス事業者の運転手がいなことが問題になっていることだ。お金の問題、他に運転手の問題とあり、非常に厳しい現状である。

N委員 承知した。

I委員 横断歩道などの路面ペイントについて、日吉小学校前の横断歩道のペイントが消えている。ペイントは、優先順位を付けて事業をやっているか。やるのはよいが、通学路の横断歩道は1番、どこどこは、信号機があるから2番目で・・・というように優先順位付けをしてやっていただきたい。

議長 それぞれ、国道、県道、市道と予算の兼ね合いもあるが、できるだけスピーディーに対応させていただきたい。

－ (1)、(2) について承認－

(3) 令和元(2019)年度柏崎市交通安全計画(案)について

－事務局説明－

R委員 今、交通安全運動期間中で市内にのぼり旗が出ているが、出ている所と、出していない所がある。これはどうなのか。対応策をお聞きしたい。

議長 気が付いたところは、意識を高めるという意味で、教えていただければと思う。

M委員 市と警察と共に一生懸命やられていて、その中で、皆さん8万4,5千の市民へ広く知れ渡るようにと思っている。柏崎地区交通安全協会はソフトの面で活動している。違反運転は取締りができるが、「あおり運転」などは、交通安全意識の向上が大切だと感じる。より一層の広報活動に是非協力していただきたいと思う。

議長 安全意識の向上、広報活動に力を入れていかなければならないと感じている。安全協会からは、毎年ランドセルカバーをいただいております、今年は、水球のランドセルカバーをいただき感謝申し上げます。

F委員 希望なのだが、秋に高校生を対象に回数券を補助とあったが、県立の翔洋中等教育学校(中等部)は、バスの定期券は割引になるが、回数券は割引対象とならないから、バス賃が高い。そのため、親が学校へ送っているという声を聞く。結局、朝交通量が多くなり悪循環のようになっている。もし今後もそのような制度があるようだったら、中学生も対象にしていただくとありがたい。

事務局 ここでは、即答でないので担当課へ確認して回答させていただきたい。

(係長)

F委員 市内の中学校だとスクールバスが出ている。

議長 財源的なものなのか、担当の企画政策課で検討させていただく。

G委員 私は、今まで市がこのような交通安全対策をしているのを知らなかった。たまたま広報で委員の募集を見かけた。この交通安全対策会議の報告ページを1ページ載せてもらうとか、せつかくなのでもっと広く周知した方がよいと思う。

議長 広報については、元気発信課と調整する。
広報かしわざき自体をあまり見ていないというアンケート結果もあったが、周知に努めたい。

— (3) について承認 —

事務局 状況報告及び計画(案)について、修正箇所は修正し、ご質問いただいたものについて、後日回答させていただく。
(課長)